

ヨコハマタイヤコーポレーションCSRレポート

事業内容: 自動車用タイヤの生産・販売

敷地面積: 422,000m²

従業員数: 1,154人(2009年6月末現在)

本社所在地: 601 South Acacia Avenue, Fullerton, CA 92831, U.S.A.
TEL+1-714-870-3800

工場所在地: 1500 Indiana Street, Salem, VA24153, U.S.A.
TEL+1-540-389-5426



社長ご挨拶



大石 貴夫

ヨコハマタイヤコーポレーションは、米国カリフォルニア州に本社組織と物流倉庫、バージニア州にセーラム工場、その他3カ所に物流倉庫を持つ製造販売会社です。セーラム工場は電気・ガスなどの省エネルギー推進によるCO₂排出量削減、生産途中で発生する材料屑および製品屑の削減と廃棄物のリサイクル化、タイヤ原料として再生ゴムの採用などを進めてきた結果、2007年3月にISO14001の認証を取得し、さらに同年10月

に米国エネルギー省の「省エネアセスメント・プログラム」に参加しました。商品開発でも環境貢献商品の開発に着手したほか、今後「dB Super E-Spec」をはじめとした低燃費タイヤを販売していく計画です。トラック用タイヤも、燃費だけではなくケーシングの耐久性向上によってリサイクル性も向上させた「Z.environment」シリーズをラインアップしています。さらに2009年は、セーラム工場で「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトの植樹祭を開催しました。米国でも環境に対する意識が非常に高まっており、お客さまに認めていただける一流企業として存在価値を高めるためには、収益向上はもとより、高いレベルの環境貢献企業になる必要があります。今後も積極的に環境および社会貢献に努めながら事業活動に取り組んでいきます。

2009年度環境方針

ヨコハマタイヤコーポレーションは、環境と地球環境の保護に努める。そのため、Reduce(産廃物の削減)、Reuse(再利用)、Recycle(リサイクル)への取り組みを通じて材料と資源の効率的かつ効果的な使用を図る。

環境マネジメントシステムの目的

- (1) 事業活動において環境に配慮した施策に取り組む。
- (2) 環境マネジメントシステムを構築し、強化し、継続的な改善活動と最適な技術、コスト効率の高い解決策によって環境汚染の防止に努める。
- (3) 法律やその他の環境要求事項に従う。
- (4) 廃棄物の削減やリサイクル、再利用などの活動を通じて汚染防止目標を設定することで、持続可能なリサイクル社会の構築に貢献する。
- (5) 省エネルギー、エネルギー効率性の改善、再生可能なエネルギーの優先利用によって地球温暖化防止に努める。
- (6) ステークホルダーの環境福祉の継続と保護のため、従業員に対し環境に関する意識向上のため、環境情報の提供と教育・訓練を実施する。
- (7) ビジネスプロセス、製品、事業活動の継続的な改善に努める。環境マネジメントシステムに基づいた目標値を設定し、年一回見直しを行う。

従業員および全ての関係者は、上記の方針に従い、環境、健康、安全に関するあらゆる懸念事項を報告し、経営陣は迅速に対応する。

主な地域との交流活動

地域イベントへの参加

2009年4月、地元セーラム市主催のフェスティバルに参加し、「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトや、オレンジオイル配合の低燃費タイヤ「dB Super E-Spec」の紹介、エコバックの配布を行いました。また、2009年5月にロアノーク市で開催された「ローカルカラーフェスティバル」に日本ブースを出展し、文化交流を行いました。



セーラム市のフェスティバルに出展したヨコハマブース



清掃に参加した従業員の子どもたち

清掃活動

2008年4月、工場近くの河川の清掃を従業員とその家族で行いました。

募金活動

セーラム工場では2007年より、アルミ缶リサイクルで得た収益を貧困層の住宅購入資金として寄付する活動を実施しており、今までに2トン以上のアルミ缶を集めました。

環境・社会貢献活動に関する表彰

2009年7月、「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトの植樹活動が、NPO団体「Clean Valley Council」から地域における模範的な環境保護活動と評価され、表彰されました。



贈呈された記念品の椅子



「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトとは、横浜ゴムが創業100周年を迎える2017年までに、国内外の全生産拠点に合計約50万本の植樹を行い「杜」を作るプロジェクトです。2007年11月の平塚製造所での植樹祭を皮切りに本格的にスタートしました。

■ 2009年4月：第1期植樹祭(250名参加、2,300本植樹)



環境データ(年度は1～12月)

項目	2006年度	2007年度	2008年度	
廃棄物発生量(トン)	2,250	2,420	2,820	
エネルギー使用量 (原油換算:千kl)	電力	21.3	22.3	21.5
	燃料	11.6	7.8	11.3
	合計	32.9	30.1	32.8
温室効果ガス排出量(千トン・CO ₂)	71.7	66.8	68.6	
水使用量(千m ³)	215	199	189	

※2007年度までの温室効果ガス排出量の算定は、電力排出係数:0.59kg・CO₂/kWhを使用

※2008年度の温室効果ガス排出量の算定は、日本の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用